



自民党・無所属 大阪府議団だより

八尾市選出

にし
かわ

西川のりふみ

議員が府議会で 一般質問



今回の議題

西川のりふみ議員は3月5日に開かれた府議会の本会議で一般質問に立ち、道路整備について八尾富田林線や大阪柏原線の整備への取り組み、近鉄河内山本駅周辺の整備状況などを質問し、八尾警察署の移転建替え等を要望しました。

Profile プロフィール

昭和33年8月27日 大阪府八尾市で生まれ、八尾市立龍華小学校卒業、八尾市立龍華中学校卒業、上宮高等学校卒業、大阪経済大学経営学科卒業。平成8年度社団法人八尾青年会議所理事長。平成9年度 八尾市立永畑小学校PTA会長。第33回全国身体障害者スポーツ大会実行委員会委員。平成11年4月 八尾市議会議員初当選(4期)。平成16年度 八尾市監査委員。平成20年度 64代八尾市議会議長。平成27年4月 大阪府議会議員 初当選。警察常任委員会副委員長。健康福祉常任委員会委員。

▶ 南海トラフ地震等の大災害に備え、八尾富田林線の整備が急務!進捗状況は?

Q. 西川議員 私の地元にある八尾空港は陸上自衛隊や大阪広域医療搬送拠点等、大災害発生時の救援活動の拠点機能を担うことが求められており、南海トラフ地震に備え、南河内地域から中部広域防災拠点へアクセスする都市計画道路八尾富田林線の整備が急務である。これまで府議会(平成27年9月)で質問し、「平成28年度早期の都市計画変更に取り組む」との答弁であったが、進捗状況と今後の見通しはどうか。

A. 都市整備部長 八尾富田林線は八尾市域と藤井寺市域の車線数減少などの都市計画変更を行い(平成28年8月)、八尾市の市道木ノ本田井中線から府道大阪羽曳野線までの区間(約2.2km)について国の都市計画事業認可を取得(平成29年11月)。現在、続く府道堺大和高田線までの区間(約1.6km)の事業認可取得に向けた協議を進めており、今後、地元関係者への説明会を行った上で来年度から測量及び設計に着手していきます。



A. 都市整備部長 大阪柏原線は八尾富田林線を経由して中部広域防災拠点に接続する重要な路線。今後、国道25号のバイパス機能をはじめ、大阪柏原線が担う役割や整備効果などを国や地元市と連携し検討を深めていきます。

▶ 国道25号の渋滞解消に貢献する大阪柏原線の整備の必要性を問う

Q. 西川議員 中河内地域には東西方向の幹線道路として国道25号が走っているが、慢性的に渋滞が発生している。大阪柏原線は国道25号のバイパス機能を果たし、渋滞の抜本的解消に寄与する重要な路線であり、国としてもしっかり取り組んでほしいと考える。国道25号のバイパスとしての、大阪柏原線の整備の必要性について問う。

道路整備
都市計画道路

河内山本駅周辺地域における整備

河内山本駅周辺整備

府道八尾茨木線の安全対策、進めていくべき。

Q. 西川議員 近鉄河内山本駅周辺地域の整備を八尾市で検討している^(※1)。整備箇所の提案の中には府管理道路も含まれ、府道八尾茨木線の歩行者の安全確保や大阪港八尾線との交差点である五月橋交差点の渋滞などの、課題を踏まえたものとなっている。過去には八尾茨木線において都市計画道路玉串柏村線を廃止した経緯^(※2)もあり、今後、八尾茨木線の対策を進めていくべきと考えるがどうか。

A. 都市整備部長 八尾市が河内山本駅を核とした周辺整備の検討を進めており、府道八尾茨木線の安全対策として、山本第1号踏切から五月橋交差点までの歩道幅や同交差点の改良などを調整会議で検討してきました。引き続き、府道と並行する玉串川や市道と一体となった道路構造など具体的に調整を進め、今後、市が進める駅前広場整備の進捗状況を踏まえて必要な安全対策を実施していきます。

(※1 八尾市は平成25年に「府道八尾茨木線及び玉串川周辺整備連絡調整会議」を設置し、八尾土木事務所や中部農とみどりの総合事務所の参画を得て検討を進め会議で提案している。)
(※2 現道の対策について道路管理者として責任を持って対応することを前提に廃止。)

西川議員 要望 玉串川水路 護岸の老朽化 駅北側についても整備事業実施を!

河内山本駅周辺には玉串川水路があり、府の「大阪みどりの百選」に選定され、住民憩いの場として親しまれているが護岸の老朽化が進んでおり、景観にも配慮し整備を望む。老朽化が著しい河内山本駅南側の区間は平成31年度末に完了する予定だが、河内山本駅北側についても事業実施を早期に国や八尾市など関係機関との調整を要望する。



玉串川(山本高校側)

西川議員【要望】 西川議員の訴え実り、八尾警察署の移転建替え決定!いよいよ動き出す

移転は八尾市中心部へ!不安のない交番配置やパトロールのあり方についても要望

八尾警察署の移転建替え

平成27年9月議会で八尾警察署の建替えの重要性を訴え、移転建替えが決定し、来年度の警察予算に移転建替えに伴う用地測量の予算が計上され、いよいよ本格的に動き出す。八尾警察署は敷地も狭く、駐車場も不足しており、できるだけ緊急車両や府民が出入りしやすい建物となるよう配慮を望むとともに、八尾市中心部への移転建替えを強く要望する。併せて現在の八尾警察署がある八尾高町周辺の府民が不安を感じないよう、八尾市の交番配置やパトロールのあり方をしっかりと考えていただきたい。